

志賀原子力発電所2号機 ブローアウトパネルの一時的な開閉について

2024年11月8日
北陸電力株式会社

昨日（11月7日）、9時26分から志賀原子力発電所2号機の空調設備点検のため、原子炉建屋・タービン建屋送排風機を停止していたところ、15時50分、原子炉建屋5階北壁の東側ブローアウトパネル^{※1}の上部付近に開き（最大5cm程度）が生じていることを確認しました。

その後、19時11分、原子炉建屋・タービン建屋送排風機を起動したところ、通常の閉止状態に復帰しました。

ブローアウトパネルの上部付近に開きが発生した原因は、今年1月1日に発生した、令和6年能登半島地震の影響により、ブローアウトパネルのクリップ^{※2}に変形等が生じていたことにより、今回の原子炉建屋・タービン建屋送排風機の停止にともなって、建屋内の負圧^{※3}がなくなり、わずかな開きが発生したものと推定しております。

今後、速やかにクリップを予備品と交換をする予定です。

また、能登半島地震発生後の原子炉建屋・タービン建屋送排風機の状態および原子炉建屋内の空气中放射性物質濃度や表面汚染密度のデータに異常がないことを確認しており、放射性物質の外部への放出はありません。

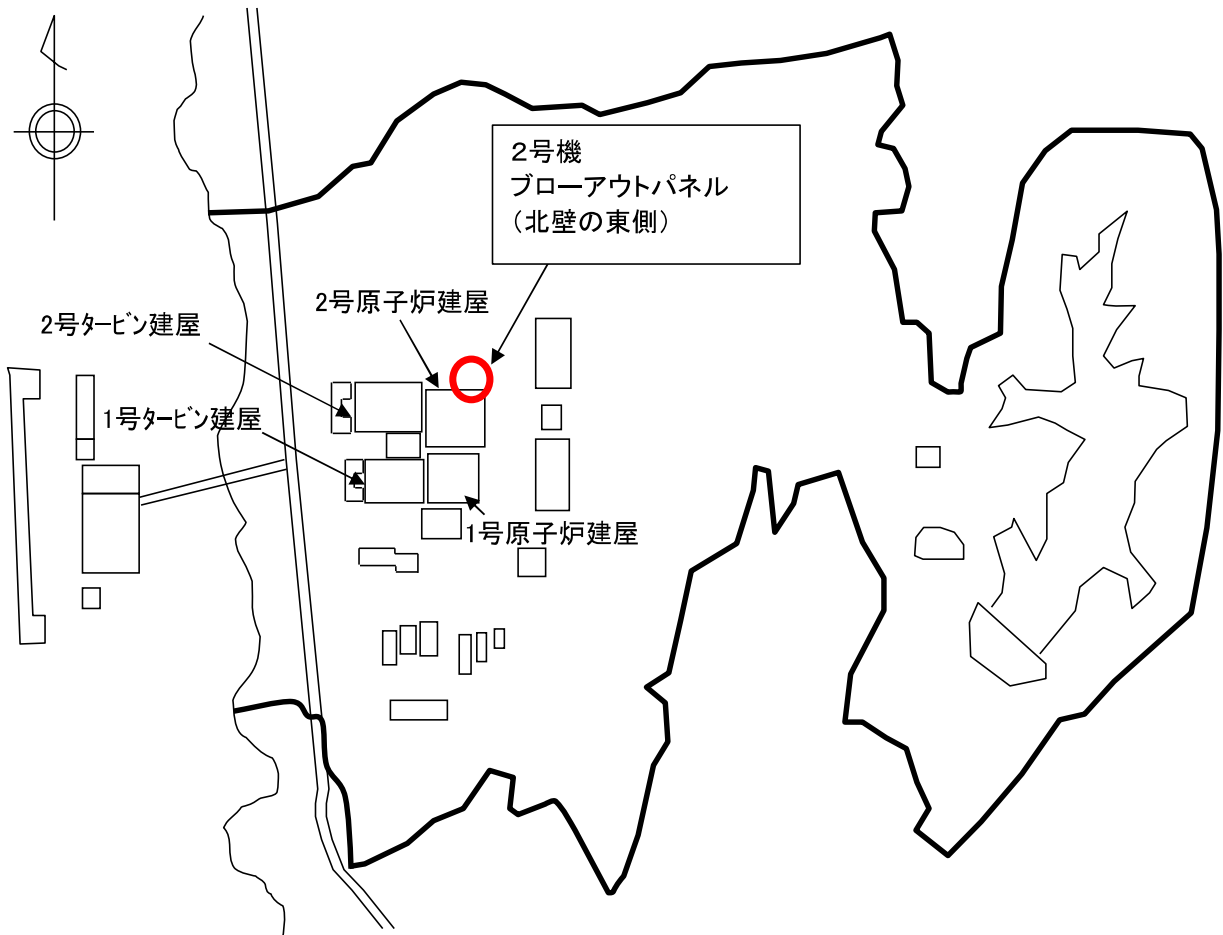
本件につきましては国及び石川県、志賀町等関係自治体に連絡しています。

- ※1 ブローアウトパネル：配管からの蒸気の漏えい等により原子炉建屋内の圧力が高くなった場合に機械的に自動で開放し圧力を下げる装置
- ※2 ブローアウトパネルのクリップ：ブローアウトパネルが開放しないように保持する止め板
- ※3 建屋内の負圧：原子炉建屋・タービン建屋送排風機を運転し、原子炉建屋内の圧力を負圧にすることで放射性物質を外部へ放出させないようにしている

添付資料1 志賀原子力発電所 構内図

添付資料2 ブローアウトパネル概要図

以上



志賀原子力発電所 構内図

